

氏名	宗 田 範
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 231 号
学位授与の日付	昭和42年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	X線照射によるマウス白血病の発生機構に関する研究 第1報 前白血病状態の変化について 第2報 白血病の種類と白血病発生に及ぼす諸因子について 第3報 白血病マウス造血臓器の蛍光培養による観察並びに 白血病細胞の細胞形態学的研究
論文審査委員	教授 平 木 潔 教授 山 本 道 夫 教授 小 坂 淳 夫

#### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

近年、白血病発生率の世界的な増加は著しく、その原因としての具体的因子は何一つ確認されていないが、診断技術の向上等による発見率の増加と共に、文明の進展に伴う外的誘発因子の質的、量的増加等が主因をなしていると考えられる。かかる外的因子の一つとして、先ず放射線が挙げられよう。放射線と白血病の発生に付いては1911年Von Jagicらの症例報告以来数多くの症例報告、実験報告がなされて来た。近年、広島、長崎に於ける原爆被爆者の白血病発生率の増加は、放射線誘発白血病の発生機構に関して我々の注意を引くに至った。その発生機構に関する研究の最も重要なものの一つはX線照射より白血病発生に至る迄の、即ち前白血病状態の経時的検索にあると考えられるが、従来の諸家の研究は、かかる点に付いては極めて断片的になされているに過ぎない。著者はこの点に注目し、RF系マウス等にX線を照射して前白血病状態の変化を検索すると共に、白血病発生に及ぼす諸因子を追求し、更に白血病マウス造血臓器の蛍光培養法による観、並びに白血病細胞の細胞形態学的研究を行ない興味ある知見を得た。

岡山医学会雑誌に掲載（昭和40年1月30日発行）

## 論文審査の結果の要旨

本研究は、マウス白血病における前白血病状態の経時的追求、白血病の種類と白血病発生に及ぼす諸因子の関係、並びに白血病造血臓器の機能的細胞学的検索を行なったもので、従来断片的な研究しか行なわれていなかった白血病発生機構の解明に重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。